

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース 准教授 杉本 聖一

取組状況	
教育	<p>1. 遠隔授業におけるアクティブラーニング(AL)環境の構築 学生の通信環境, PC環境を調査した上で, オンライン会議ソフトによる双方向授業を行った. 遠隔ではALに必要な質問がしにくく, 互いに教え合えないという問題が生じたため, 演習時はグループ毎に個別のオンラインルームに分け, そこを教員が巡回することで仮想的なグループワーク環境を構築した.</p> <p>2. オンライン会議を活用した社会実装教育の実施 W4ED工学, W5ED演習, 専攻科EDの各授業において社会実装教育を行っているが, 現地調査に赴きユーザーに聞き取り調査を行うことが必須である. コロナ禍で今年度は学生が実際の現場に行くことは不可能となったが, 教員による事前現地取材やオンラインでのユーザーへの聞き取り調査を実施した. 現地に行く場合と異なり, 距離的, 時間的な制約が緩和した分, ユーザーとは以前より密にコミュニケーションを取ることができるようになり, 試製品作りに反映させることができた.</p> <p>3. 学生の学会発表 専攻科生: 2件(国内学会発表2件)</p>
研究	<p>国内学会発表</p> <p>1. 関根 たくみ, 杉本 聖一, 八木 一夫, 小林 訓史, “HA 複合型TCP 骨補填材の合成とHHP 時のCa/P 比変更による化学反応制御の試み”, 2020年度日本機械学会年次大会, 2020.9.15</p> <p>2. 関根 たくみ, 杉本 聖一, 八木 一夫, 小林 訓史, “Ca/P比変更によるHA複合型β-TCP骨補填材の諸性質への影響”, 第39回数理学講演会, 2020.9.26</p>
社会貢献	<p>1. 企業からの技術相談(1件)を実施</p>